

2011年度受託研究概要報告

神戸市危機管理室防災啓発キャラクターデザイン作成

研究メンバー

久本直子 ビジュアルデザイン学科助教

委託者

神戸市危機管理室

研究概要

神戸市危機管理センターが2012年4月に全館共用開始。その際、新たにすでに危機管理室から挙げた仮案から制作し、市民への防災啓発、センター1F部分である展示（市民に開放 防災写真や震災資料等）、研修スペース（小学生、修学旅行生の防災研究として使用）での案内表示、新たに制作するパンフレット、その他グッズにも用いるキャラクターの制作、並びに建物前バナーの制作。キャラクターはどすこい防サイくん、という名前。後には着ぐるみ等にもしていきたいとの神戸市の意向で、更なる活躍を期待している。

阪神・淡路大震災の経験から、「自助」「共助」の精神で市民とともに防災意識の向上を図るため、危機管理センター竣工とともに誕生したシンボルキャラクターとしての制作。

研究成果

危機管理室の方との打ち合わせを何度も重ね、また、危機管理センターへ学生と共に見学し、神戸市の防災の中核となる様々なシステムや機器、また防災に関わる方々からの話を直接伺うことができ、非常時の様々なシステムなどを備え、司令塔となる重要な機関であることや市民を守る行政としての熱意を学べた。

学生にとって危機管理センターの重要性と何故このキ



図1 左から
ふれっしゅ防サイちゃん、どすこい防サイくん、しゅびん防サイくん

ャクターが必要なかを認識しつつ、妥協することのない仕事、クオリティを学べたことはこれからの活動において得るものが多かったと思われる。

危機管理室へのプレゼンテーションとして、メインキャラクターと、それぞれが考えたサブキャラクターのセットで制作し提案することでそれぞれの世界観を強めたプレゼンテーションとなった（データと印刷されたもの）。その前段階で学内にて3名を選び、最終的には危機管理室での投票により、院生の奥村晃大氏のキャラクターが選ばれた。その後さらにブラッシュアップし、11月末に最終のキャラクターデータとして提出。その後サブキャラクター2体（学生仮案）を3月のイベントに間に合わせるためにブラッシュアップし、同時に様々なポーズをとったキャラクターを2月納品。バナーについては2種類制作し、神戸を象徴した海と山をイメージし、キャラクターを配置したものを奥村氏へ依頼し、指導のもとラフからチェックまで完成させた後プレゼンテーション、納品とした。学生にとっては初めての体験であったため様々な指導とデザインの研究をすることとなった。

1月11日のお披露目竣工式の際には制作した2種のデザインを表裏にあしらったバナーが危機管理センターに掲示され、竣工式では市長に手渡された。キャラクターはパンフレットにも使用され、危機管理室職員の名札や名刺にも使用されている。神戸市の危機管理の中核拠点という場所の重要性と認知度のアップのためのキャラクターとして、非常用の笛のシール、ファイル、センター内の案内板などにも使用されており、今後さらに使用予定とのことである。様々な場所への使用に耐えうるクオリティを保つような線の太さ、大きさ、そして親しみやすさとわかりやすさをふまえた制作の結果として今回のグッズへの展開の機会も得られた。

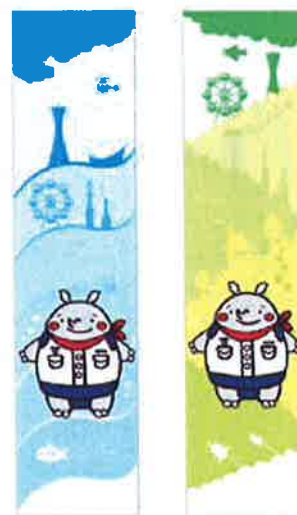


図2 バナー（それぞれが表裏）